

東京都環境審議会企画政策部会(第40回)

未来に向けた意見交換

Change Our Next Decade

代表 矢動丸琴子

生物多様性は
私たちの生活の基盤
そして
私たちの権利

生物多様性の危機と現状

日本の生物多様性及び生態系サービスの状態は、過去 50 年間、長期的に損失・劣化傾向にあり、その直接的な要因の影響が大きいまま推移していると報告されている*

- ①開発などの人間活動
- ②里山等の管理不足
- ③外来種による生態系かく乱
- ④地球環境の変化



愛知目標も達成できず！

生物多様性4つの危機

* 環境省(2021) 生物多様性及び生態系サービスの総合評価 2021 (JBO 3: Japan Biodiversity Outlook 3) <https://www.env.go.jp/press/files/jp/115844.pdf>

止まらない「生物多様性の損失」

強い危機意識

気候変動

絶滅危惧種増加

野生生物管理

漁獲量の減少

侵略的外来種

海洋プラ問題

開発問題

わたしたちの生きる未来はどうなるの？！

なんとかしたい、行動を起こしたい
わたしたちの生きる未来を守りたい！

わたしたちの る
次の10年を変えたい！！

Change Our Next Decade

Change Our Next Decade(COND)



VISION

人と自然がより良い関係で共生できる社会の構築

- 2019年8月、CBD-COP15に向け若者としてアクションを起こすために設立
- 生物多様性の分野に関わる若者を増加させ環境分野を主流化することを目指す
- 「生物多様性保全」に向け本気で行動したい北海道～九州までの若者25名程度で構成
- WIN WIN Sustainability Yourh Award 2020ノミネート



地域活動：生物多様性ユースアンバサダー(2020年のみ)



地域チームの報告(1) 北海道

活動内容
 本チームは、2020年10月10日(土)に札幌市東区にある「札幌市立中央図書館」にて、第1回「生物多様性ユースアンバサダー」の活動を行いました。この活動は、生物多様性の重要性を広く伝えることを目的として実施されました。当日は、約50名の参加者があり、生物多様性に関するクイズやパネルディスカッションが行われました。また、生物多様性に関する書籍や資料も展示されました。

活動の成果
 本活動を通じて、生物多様性の重要性について多くの参加者に理解が深まりました。また、生物多様性に関する書籍や資料の展示を通じて、生物多様性に関する知識が広まりました。また、生物多様性に関する書籍や資料の展示を通じて、生物多様性に関する知識が広まりました。

活動の反省
 本活動を通じて、生物多様性の重要性について多くの参加者に理解が深まりました。また、生物多様性に関する書籍や資料の展示を通じて、生物多様性に関する知識が広まりました。また、生物多様性に関する書籍や資料の展示を通じて、生物多様性に関する知識が広まりました。

活動の展望
 本活動を通じて、生物多様性の重要性について多くの参加者に理解が深まりました。また、生物多様性に関する書籍や資料の展示を通じて、生物多様性に関する知識が広まりました。また、生物多様性に関する書籍や資料の展示を通じて、生物多様性に関する知識が広まりました。

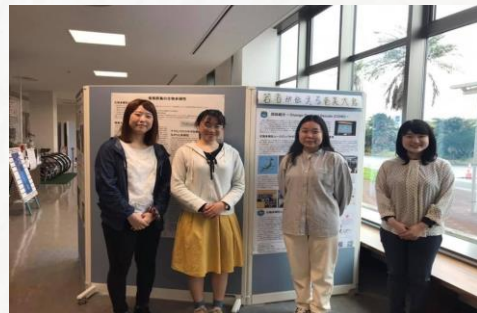
地域チームの報告(2) 近畿

活動内容
 本チームは、2020年10月10日(土)に大阪府大阪市にある「大阪市立中央図書館」にて、第2回「生物多様性ユースアンバサダー」の活動を行いました。この活動は、生物多様性の重要性を広く伝えることを目的として実施されました。当日は、約50名の参加者があり、生物多様性に関するクイズやパネルディスカッションが行われました。また、生物多様性に関する書籍や資料も展示されました。

活動の成果
 本活動を通じて、生物多様性の重要性について多くの参加者に理解が深まりました。また、生物多様性に関する書籍や資料の展示を通じて、生物多様性に関する知識が広まりました。また、生物多様性に関する書籍や資料の展示を通じて、生物多様性に関する知識が広まりました。

活動の反省
 本活動を通じて、生物多様性の重要性について多くの参加者に理解が深まりました。また、生物多様性に関する書籍や資料の展示を通じて、生物多様性に関する知識が広まりました。また、生物多様性に関する書籍や資料の展示を通じて、生物多様性に関する知識が広まりました。

活動の展望
 本活動を通じて、生物多様性の重要性について多くの参加者に理解が深まりました。また、生物多様性に関する書籍や資料の展示を通じて、生物多様性に関する知識が広まりました。また、生物多様性に関する書籍や資料の展示を通じて、生物多様性に関する知識が広まりました。



政策提言



- NGOグループとして「次期生物多様性国家戦略」に対する意見や論点となるポイントの提言
- IUCN-J主催NBSAPフォーラムで分科会を開催、環境省への提言を予定
- GYBNとともに生物多様性条約「ポスト2020枠組」への政策提言
- 2020年6月25日／2021年1月15日に開催された小泉大臣との意見交換会にも参加
- 東京都の地域戦略策定担当者と意見交換
- 2021年3月18日・22日に開催された「小泉大臣 × Z世代意見交換」に出席
- JYPSが主催するSDGs Youth Summit2021の関連で外務省への提言に参加
- 2021年6月18日に環境省・水産庁担当者と「海洋生物多様性」に関する意見交換を実施

過去の提言書の
詳細などはHPから！



普及発信

- SNSやYouTubeで情報発信
- イベントの開催
- キャンペーンの実施

CONDゆるっとラジオ

アーカイブ観られます

https://linktr.ee/cond_movie



YouTubeライブ生配信!!

Change Our Next Decade

CONDについてお調べ /

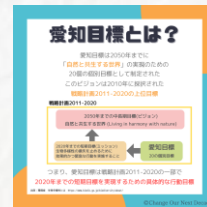
ゆるっとCONDラジオ
2月28日(日) 20:30~
YOUTUBEで生配信!!

今回のゲストは現代英語国際会議専門委員会委員長のみなさん!

パーソナリティ
あきちゃん
こっちゃん
あずさ

今週日曜も
ゆるっとCONDラジオ♪
みずほ・あきちゃん・こっちゃんでお届けします!

視聴は
プロフィールリンクより



国際協働

- ▶ モーリシャスのユース団体Sov Lanatirとの協働
- ▶ WWF中国との協働 ※終了



← YouTubeに動画アップしています
<https://youtu.be/6F3VrFZZtnc>



メディアにも掲載されました！

2021年4月7日・8日に

IUCN-WCC Global Youth Summitにて
模擬環境大臣級会合を実施しました！ →



生物多様性に関する発表・講演など



プログラム/登壇者紹介

Choose Reframe

- 10:00-10:05: 開会式
- 10:05-10:25: Openings Remarks

「なぜ若者がSDGsについて考えるべきなのか」
「To All Young Leaders」

Ms. Jayshma Wickramanayake
UN Youth Envoy

STARS

みっばち

YOUTH+

SDGs Youth Ambassador 2021 優秀グループ

- 10:35-11:30: Plenary Session
- 11:30-11:40: 政策提言の手交

「SDGsとデザイン思考：2030アジェンダ達成に向けた若者視点のデザイン思考」

林葉志氏
Sant Commons Lab (NCL)

張彦芳氏
九州大学大学院 経営学専攻

前田紫氏
一般社団法人ソーシャル・シムルン代表

中村美夏氏
一般社団法人ソーシャル・シムルン代表

矢動丸琴子氏
Change Our Next Decade (CON)

IPBESシンポジウム 生物多様性とライフスタイル

～新しい日常に向けてわたしたちができること～

環境省 IGES

2021年3月6日(土) 14:00～18:30

参加申込

https://www.ipbes.int/online-event/2021/03/06

第6回 分野横断的研究交流会

2020年11月21日(土) 14:00～17:00

主催: 学芸大学 青年センター

2020年11月21日(土) 14:00～17:00

第2回 ポスト2020特別作業部会 オンライン報告会

4月20日(月) 19:00～21:00 @Zoom

主催: Change Our Next Decade (CON)

共催: 環境省自然保護政策実行委員会 (UICN-J)

話者: 矢動丸琴子氏 (Change Our Next Decade (CON) 代表)

協賛: 福本信太氏 (環境省)

SDGs Youth Ambassador Program 特別講師の紹介!!

矢動丸 琴子 氏
Change Our Next Decade / 設立者

「CON」

「CON」は、学芸大学国際最先学研究所博士後期課程在学中。専門は、環境健康学、環境教育学、人間福祉学など。2018年、博士課程退学と同時に、国際自然保護連合日本委員会 (UICN-J) 事務局にて勤務職員として勤務を開始。2020年よりユースプログラムディレクターとして活躍。国際会議参加や政策提言も含め、生物多様性分野での経験も多岐に達しています。



未来に向けた CONDからの 提言

未来に向けた4つの提言

1. 環境問題の解決があらゆる社会課題の解決に
肝要だと認識すること
2. 世代間衡平の重視とあらゆる政策・計画へ組み込むこと
3. 気候変動対策と生物多様性保全の両立を強化すること
4. 生物多様性の保全強化と主流化の促進すること

環境問題の解決があらゆる社会課題の解決に肝要だと認識すること

- 自然環境や生物多様性が、人類を含むすべての生物が健全に生きるために不可欠であることを認識し、横断的課題として取り組むこと
- 生物多様性保全や気候変動対策を強化し、SDGs達成への取り組みを十分に加速させること
- 自然資源が有限であることを認識し、その価値を認め、持続可能な利用を強化するための施策を推進すること
- 自然環境に配慮しない開発を伴う経済活動を行わないこと

世代間衡平の重視とあらゆる政策や計画に組み込むこと

- 政策策定時に世代間衡平の視点を必ず組み込むこと
- 全ての政策/制度/行動が「全ての世代の共通だが差異ある責任」に対応し潜在的な悪影響を回避又は最小化するための目標設定をすること
- 現在の世代のための安全で、清潔で、持続可能な環境に対する権利の尊重・保護等が、将来世代も同等の権利を享受できる戦略とすること
- 若者も重要なステークホルダーの1つとして位置づけ、重要な政策決定の場に公平に参画できる制度や仕組みを整備すること

気候変動対策と生物多様性保全の両立

- 「カーボンニュートラル2050」と同時に「人と自然の共生」も達成できるような気候変動対策を実施すること
- 再生可能エネルギーの推進に伴い、環境アセスメントを強化し、その開発が生物多様性を脅かさないようにすること
- グリーンインフラやEco-DRR、NbS、EbAなど、生態系や自然を活用した気候変動の緩和適応を推進し対策の両立を図ること

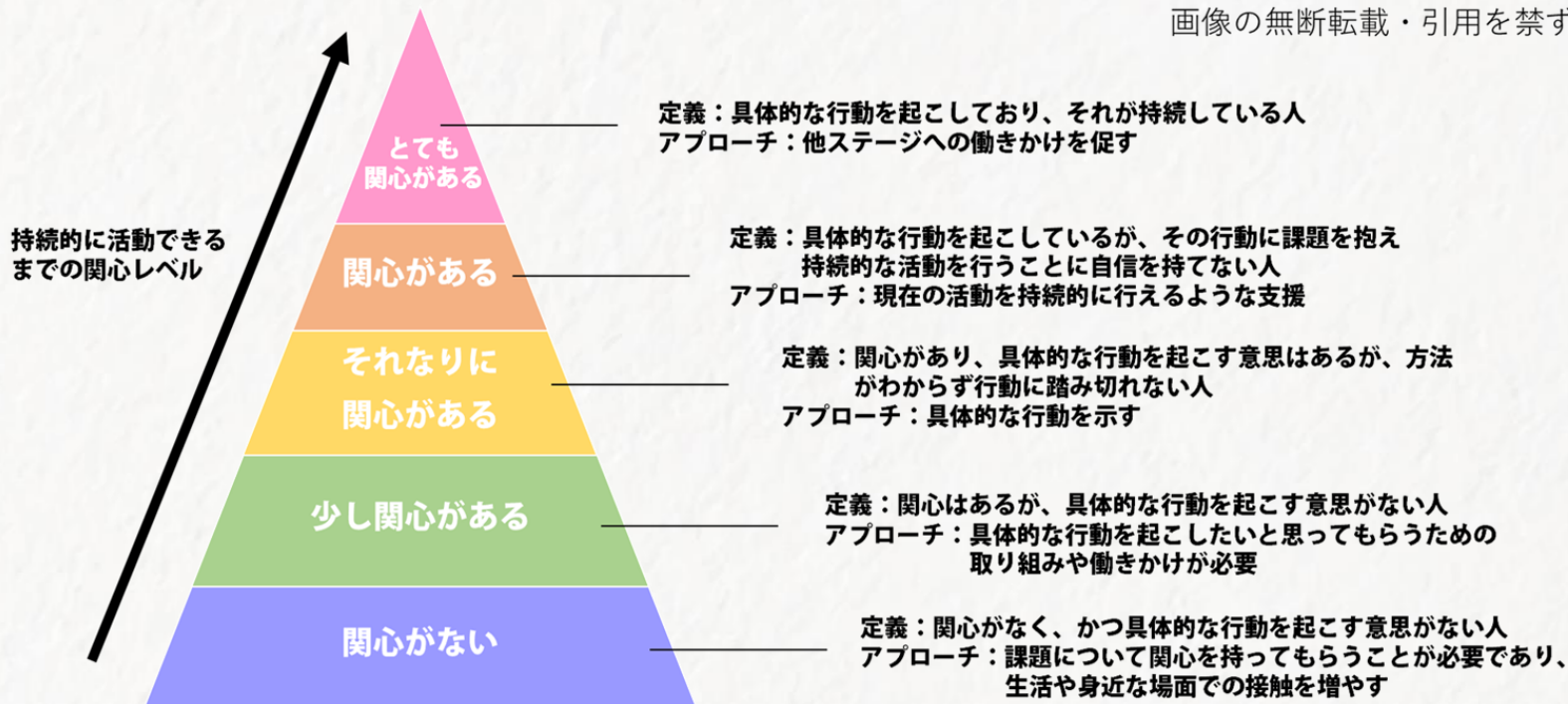
生物多様性の保全強化と主流化の促進

- 過去10年間を適切に分析し、次の10年間では状況が好転するような社会変容を起こすことのできる取り組みを実施すること
- 生物多様性の主流化を促進し自然環境の重要性を当たり前と認識する市民を増やすことのできる効果的な政策や計画を実施すること
- 環境教育の担い手育成の強化や若い世代が環境保全に無理なく関わることのできる社会構造を整備すること
- 5段階での関心別のアプローチを行い、それぞれのステージに合わせた適切な働きかけを実施できる仕組みを整備すること(次ページ参照)

(参考) 5段階での関心別のアプローチ: COND行動変容モデル

©Change Our Next Decade

画像の無断転載・引用を禁ず



生物多様性を守ることは
私たちを守ること

ご清聴ありがとうございました

More Information

secretariat.cond@gmail.com

<https://condx.jp/>

